



営農通信 第99号

令和2年5月 JA都城：資材課



かんしょ除草剤



散布 14 日後のホトクイ

現在、JA 都城では甘藷除草剤キャンペーンを行っております。

5月31日までの期間限定となっておりますのでぜひこの機会にお買い求めください。ご存知の方も多いかと思いますが改めて、『ポルトフロアブル』のご紹介を致します。

●特徴

- ・10 葉期（約 30cm）のホトクイを枯らしめます。散布後の雨にも強いので、梅雨時期や天候不順、作業の忙しいとき等の除草作業の遅れが生じて大丈夫です。
- ・作物の上からも散布できます。

かんしょ畑 10a あたり

250mℓ（推奨薬量です。）

水 100ℓ



●上手な使い方

●散布の注意点

- ・雑草の茎葉がしっかり濡れるくらいに、しっかりと散布することがポイントです。
- ・登録作物にかかっても大丈夫です。
- ・展着剤を加用する必要はありません。加用しなくても十分な効果が得られます。

適用作物	適用雑草名	使用時期	本剤の使用回数	10a あたり使用薬量	10a あたり希釈水量	使用方法
かんしょ	一年生イネ科雑草（双葉期以降を除く）	雑草生育期（イネ科雑草の3～10 葉期） 収穫 14 日前まで	1 回	200～300mℓ	100ℓ	雑草茎葉散布 または 全面散布

かんしょ基腐病について



本年産サツマイモ栽培においてサツマイモ基腐病の発生が確認されました。今後の発生拡大が懸念されますので、発病株の除去や薬剤防除など適切な対策を実施しましょう。

【防除上の注意】

- ①定期的にほ場を見回り、発病株を見つけた場合は、早急に抜き取りほ場外に持ち出す。持ち出した発病株は土中埋設など適切に処理する。
- ②発病株の除去前後は、周辺株への感染を予防するため、銅剤を散布する。
- ③排水不良のほ場では多発することが懸念されるので、ほ場外への排水を促すため、排水用の溝を必ず設置する。
- ④これから定植する作型については、ベンレート水和剤を用いて苗の消毒を必ず実施する。また、消毒液は充分量を準備し、使用当日に調整したものを用いる。
- ⑤採苗の際は、苗床の地際部から 5cm 以上離して採取し、採苗時のハサミはこまめに消毒（アルコールまたは火炎滅菌）する。

※本情報は宮崎県病害虫防除・肥料検査センターのホームページでも閲覧可能です。

さといも疫病防除体系(2020 年版)

さといも疫病に対して使用できる農薬が、ジーファイン水和剤、ペンコゼブ水和剤、アミスター20フロアブル、ダイナモ顆粒水和剤の 4 薬剤となりました。

各薬剤の特徴を知って、効果的に使用しましょう。



●予防には『ペンコゼブ水和剤』（マンゼブ 80%）

【さといもの疫病に対する農薬登録】

希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
500 倍	収穫 7 日前まで	2 回以内

付着性・耐雨性に優れた予防剤で薬害が少ないので生育初期に有効です。

●仕上げに『ジーファイン水和剤』（炭酸水素ナトリウム 46%・無水硫酸銅 30%）

【さといもの疫病といも類軟腐病に対する農薬登録】



希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
1000 倍	収穫前日まで	なし

株元や葉柄の発病防止に有効で、卵胞子にも効果があります。疫病の病斑から発病する軟腐病（とろけ）に有効です。

●発病時には『ダイナモ顆粒水和剤』（アミスルプロム 17%・シモキサニル 30%）

【さといもの疫病に対する農薬登録】



希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
2000 倍	収穫 21 日前まで	3 回以内

病原菌の仲間に対する専用剤で、感染初期に治療効果が高く、長い予防期間があります。また、葉の中の菌にも高い効果があります。

●発病時には『アミスター20フロアブル』（アゾキシストロピン 20%）

【さといもの疫病に対する農薬登録】



希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
2000 倍	収穫 14 日前まで	3 回以内

耐雨性が高く、葉に浸透するので発病時に散布することで高い効果があります。

○農薬を使用する際は製品ラベルをみて、使用基準を確認しましょう。

○アミスター20フロアブル、ダイナモ顆粒水和剤は連続して使用すると耐性菌が発生しやすくなりますので、注意しましょう

※治療効果の高い薬剤が 2 薬剤になりました。しかし、地際など防除が難しい発病部位や、必ずしも薬剤で防除できない菌の形態、また合併症があります。特定の薬剤だけに頼る防除ではなく、薬剤の特徴を生かした体系防除を行いましょう。

通信内容のご相談は営農サポーターまでご連絡ください

（文書取扱：JA 都城 資材課）